

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	島津明人	所属	北里大学一般教育部人間科学教育センター
研究会等名称	産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 70 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 40 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会は、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧 (健康, 幸福, 安全) に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的として設立された。</p> <p>本年度は、主に以下の 2 つの活動を行った。</p> <p>(1) 日本心理学会第 81 回大会における公募シンポジウム「職場のストレスとメンタルヘルス：メンタルヘルス対策の新たな動向ー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年 9 月 20 日 (木), 久留米シティプラザ ・内容：2002 年から毎年年度大会にて企画しているワークショップ/シンポジウムであり、2017 年度で 15 回目の開催となった。今回は、約 70 名の参加者とともに、「ストレスチェック制度の動向と職場および労働者の支援」(種市康太郎・桜美林大学), 「心理・社会的職場環境の改善による組織活性化」(真船浩介・産業医科大学), 「職場における身体活動促進とメンタルヘルス対策」(渡辺和広・東京大学), 「労働者の睡眠に注目したセルフケア支援」(中田光紀・産業医科大学) について話題提供が行われ、フロアとの討論を行った。 <p>(2) Jan de Jonge 教授による特別講演会「The Demand-Induced Strain Compensation Recovery (DISC-R) Model: Past, Present, and Future」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年 4 月 13 日 (金), 東京大学 ・内容：オランダ・アイントホーフェン工科大学の Jan de Jonge 教授を招聘して特別講演会「The Demand-Induced Strain Compensation Recovery (DISC-R) Model: Past, Present, and Future」を行った。理論モデルに基づく働き方、休み方について講演いただき、これからのストレス対策、生産性向上について検討する好機となった。また、産業保健心理学のさらなる発展と国際化に貢献した。約 40 名が参加した。 <p>次年度は、日本心理学会第 82 回大会でのシンポジウムの企画ほかを予定している。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
産業保健心理学研究会				
研究集会開催日：2017年9月20日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	島津明人	北里大学	○	
2	真船浩介	産業医科大学	○	○
3	岩田 昇	広島国際大学	○	
4	大塚泰正	筑波大学	○	
5	種市康太郎	桜美林大学	○	
6	中田光紀	産業医科大学	○	
7	渡辺和弘	東京大学	○	
8	塩谷 亨	金沢工業大学	○	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
産業保健心理学研究会				
研究集会開催日：2018年4月13日(金)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	島津明人	北里大学	○	
2	川上憲人	東京大学		
3	堤明純	北里大学		
4	外山浩之	北里大学	○	
5	平松利麻	トラヴェシア社会保険労務士事務所		
6	久保智英	労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所	○	
7	井上彰臣	北里大学		
8	Aey Thatha	東京大学		
9	櫻谷あすか	東京大学		
10	佐々木那津	東京大学		
11	落合由子	筑波大学	○	
12	中丸世紀	筑波大学	○	
13	田伏みどり	筑波大学	○	
14	窪田和巳	横浜市立大学		
15	小野章子	東京大学		
16	武村雪絵	東京大学		
17	國江慶子	東京大学		
18	錦戸典子	東海大学		
19	小田原幸	北里大学	○	
20	高野美代恵	オフィスME社会保険労務士事務所		
21	真船浩介		○	○
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2018年 4 月 15 日

日本心理学会研究会

2017 年度会計報告書

研究会名称 産業保健心理学研究会

研究会番号 研16013

助成金額 30,000円

年月日	項目	金額
2018年4月13日	講師謝礼 (1名 : Jan de Jonge教授)	¥30,000

支出合計 ¥30,000